長野県議会議員

# 中川ひろまさ 県議会だより

vol.39 秋号

Hiromasa's Report

発行日:2020年11月　発行元:長野県議会県民クラブ・公明　会長　諏訪光昭

## ごあいさつ

日頃から、中川宏昌の議員活動に対しまして、温かなご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスは、世界全体での感染者数は五千万人を超え、未だ世界的に猛威を振るい感染拡大が続いております。日本国内においても、再び感染が拡大しており、長野県におきましても、同様の状況です。

今後も、外出に際しては、「人との接触機会の低減」、「人と人との距離の確保」、「会話時のマスク着用」、「訪問先での換気の徹底」などを行い、「三つの密」を避けて感染防止に努めていただくとともに、国や県の正確な情報に基づいて、感染対策を講じていただきますようお願い申し上げます。

感染症対策においては、医療機関のご協力のもと、県内の更なる体制強化に努めていくとともに、産業や観光等、様々な分野でのお声を県政に届けながら、この難局を皆様と一緒に乗り越えていきたいと決意をしております。

皆様方におかれましては、くれぐれもお身体にご自愛いただき、引き続き中川宏昌の活動に対しまして、旧に倍するご指導・ご鞭撻を賜ります様、何卒お願い申し上げます。

長野県議会議員
中川　宏昌

## ■ 新体制で出発　～第12回公明党長野県本部大会～

10月11日13:3日～第12回公明党長野県本部大会を長野市内で開催しました。太田昌孝衆議院議員が、県本部代表として8期目の再任をされ、私も県本部幹事長の再任をいただきました。
太田県代表を支え、新たな発想と挑戦で、長野県本部の構築していくとともに、公明党の原点である「衆望にお応えしていく」精神で邁進してまいります。

## ■ 会派お出かけ政調会　～上伊那地域を訪問しました～

10月12日～13日の2日間、清水正康議員の地元の上伊那地域で会派の「お出かけ政調会」を実施しました。
「こころの医療センター駒ヶ根」では依存症治療、子どものこころ総合医療センターの構想について。また、「障がい者支援施設長野県西駒郷」では、地域移行の現状と社会的自立の課題について意見交換。
2日目は、人口増となっている南箕輪村で、「こども館」に伺い、ネウボラの取組みを調査。上伊那地域振興局では上伊那地域の6町村長の皆様との意見交換懇談を行うとともに、辰野町「信州フューチャーセンター」では、女性が活躍しながら子育て出来る環境づくりや地域おこし協力隊と共同したつながり人口の創出への取組への有意義な意見交換ができました。

## ■ 感染対策を講じてスポーツ大会
### ～スポーツ吹矢フィールド競技大会の開会式～

10月18日、第1回スポーツ吹矢フィールド競技大会の開会式に出席しました。(松本市スポーツウェルネス吹矢協会　会長:鈴木健一さん)
コロナ禍で、通常形式の大会の開催が難しいことから、庭園をお借りし間隔を空けて開催されたもので、全国的にも珍しい取り組みです。役員の皆様のご努力の結晶です!

## ■ 小池久長副議長就任報告会
### ～富士見高原スキー場にて～

10月24日、標高1200mの富士見高原スキー場内で、我が会派の小池久長議員の県議会第98代副議長の就任報告会が開催されました。コロナ禍において感染対策を考慮しながら新たな様式を模索し、野外で1時間と時間を絞っての就任報告会は爽快さと、ほっこりと心温まるものがありました。

## 議員提案により「長野県脱炭素社会づくり条例」を制定しました

持続可能な脱炭素社会づくりに関し、基本理念や施策の基本的事項等を定めた「長野県脱炭素社会づくり条例案」を議員提案し、全会一致で可決しました(10月19日公布・施行)。

長野県議会では、令和元年6月に軽井沢町で開催された「G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」に合わせて長野県等が発表した「持続可能な社会づくりのための協働に関する長野宣言」を契機に、環境政策に関する議員提案条例の制定に向けて「環境政策推進条例(仮称)制定検討調査会」を設置し、県民の皆様からの意見募集等を実施しつつ検討を重ねてきました。この間、私も制定検討調査会の幹事として、制定に尽力してきました。

今後は、本条例の制定を機に、持続可能な脱炭素社会づくりを一層推進していくこととなります。長野県の脱炭素社会づくりに向けて、皆様のご協力を何卒お願い申し上げます。

### 条例の要旨

○持続可能な脱炭素社会づくりに関し、基本理念及び施策の基本的事項等を定め、循環型かつ災害に強い強靭な社会の実現を図り、県民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする(第1条)。

○2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目標として規定(第2条)。

○知事は、持続可能な脱炭素社会づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画(行動計画)を定めることを規定(第7条)。

○施策の柱として、エネルギー自立地域の確立(第8条)、プラスチックの資源循環の推進(第9条)、産業イノベーションの創出の促進(第10条)、エシカル消費等の推進(第11条)を規定。その他、県や事業者等の責務、国及び国内外の自治体との協働等について規定しています。

PROFILE

1970年生まれ、50才。長野県塩尻高校（現塩尻志学館高校）、創価大学文学部卒。長野銀行に18年勤務し、2011年4月に県議会議員初当選。現在3期目。観光産業環境委員長、環境文教委員長、農政林務委員長を務める。県議会県民クラブ・公明幹事長。公明党長野県本部幹事長

ホームページ
https://www.nakagawahiromasa.com/

ツイッター
https://twitter.com/N_hiromasa

フェイスブック
https://www.facebook.com/hiromasa.nakagawa.31

LINE 公式アカウント
https://lin.ee/BIEq1u3

長野県新型コロナウイルス 感染症対策　総合サイト

# 長野⇔沖縄　交流プロジェクトが始動

昨年9月の県議会一般質問で、「山の県である長野県」と「海の県である沖縄県」が、物産、観光資源において、大きな補完性を有している地域同士であることから、長野県と沖縄県の交流促進を進めるべきであると提案させていただきました。以後、議員各位のご賛同やご協力、関係機関のご支援等もいただきながら、長野県と沖縄県の交流プロジェクトが始動するまで至りました。
10月29日～30日には、阿部知事の沖縄トップセールスが行われ、私も訪問団の一員で同行させていただきました。今回の模様をレポートさせていただきます。

## ■10月29日（木）10:00～ ★琉球新報社★

玻名城社長との懇談では、「ツーリズムEXPOジャパン沖縄」で長野県ブースの出展を通じたスノーリゾート・特産品等長野県魅力発信についてや、両県の交流へ関心を高めるため、官民の交流の取組等への報道の要請をさせていただきました。また、琉球新報本社１階広場「あじま～る」では、信州の旬の味覚を集めた「長野県特産品フェア」を開催していただき、長野県産リンゴやブドウ、日本酒などを店頭に並べ、多くの人に買い求めていただきました。

## ■10月29日（木）10:30～ ★沖縄テレビ★

町田会長との懇談では、沖縄テレビの番組「ひーぷー☆ホップ」で、本県「ツーリズムEXPOジャパン沖縄」出展に対する取材の御礼と、官民の交流の取組等への報道の要請をさせていただきました。

## ■10月29日（木）11:00～ ★日本トランスオーシャン航空★

富田会長との懇談では、人的交流及びインバウンドの要となる航路の実現（福岡を中継した沖縄と信州まつもと空港間の航路）や、沖縄県から長野県への旅行商品の造成について意見交換させていただきました。

## ■10月29日（木）13:30～ ★「ツーリズムEXPOジャパン沖縄」★
### ～沖縄コンベンションセンター～

本イベントは「世界のツーリズムをリードする」総合観光イベントで、日本最大級の規模であり、今回は沖縄県で開催されました。観光業界はもとより様々な産業関係者が「観光」を軸に集結し、海外・国内・訪日の観光振興、地域活性化を目指すとともに、参画する事業者各々が発展成長していくために、知見共有や議論をする機会、ビジネスの場としての展示会や商談会、一般消費者向けのプロモーション、ダイレクトマーケティングの機会が提供されました。長野県も昨年に引き続き、展示商談会のブースを出展し、他のブースと比べ、ひと際目立ったブースであったことから、多くの関係者の皆様に立ち寄っていただき、アピールすることができました。

## ■10月30日（金）9:30～ ★沖縄タイムス★

武富社長と面談し、台風19号災害の義援金の御礼と、更なる両県の交流に向けた報道のお願いを申しあげました。また、同社タイムスビルでは「長野県特産品フェア」を開催していただき、「長野のリンゴはおいしくてやめられない。食べるのが楽しみ」など、好評をいただきました。

## ■10月30日（金）10:20～ ★沖縄ツーリスト★

東会長と面談し、長野県への旅行商品造成や、教育旅行の推進、学習旅行など、まつもと空港を活用したチャーター便による相互送客の促進について意見交換。前向きなご回答もいただきました。

## ■10月30日（金）11:15～ ★沖縄県庁★
### ～玉城デニー知事と会談～

阿部知事からは、互いの県民の思いがつながっていることが大事であり、息の長いものにしたいと交流の深化に期待を寄せたほか、玉城知事からは、人流、物流、交流の翼を広げたいと歓迎いただきました。
会見では、修学旅行の相互受け入れなど、観光振興による地域連携の可能性を提案するとともに、沖縄県の国際物流拠点を活用した長野県産品のアジア市場への輸出展開について意見交換されました。

## ■10月30日（金）13:15～ ★摩文仁の丘★ ～沖縄県平和祈念資料館～

沖縄戦終焉の地となった摩文仁の地にある県営公園で、園内には沖縄県平和祈念資料館や、敵味方の区別なく沖縄戦で戦死された23万余の犠牲者の名を刻んだ平和の礎・国立戦没者墓苑があります。長野県の慰霊塔も建立されており、整備状況を把握するとともに、黙とうを捧げました。

## 9月県議会農政林務委員会

新型コロナウイルス感染症に係る主な県内農畜水産物の現状について、一部品目を除き価格や需要は回復基調との説明があり、今後も需要減や供給過剰が見込まれる品目の影響を質したほか、所得向上や地域の活性化につながる新たな施策を期待する発言がありました。また、畜産振興策について、県内食肉流通の合理化に向けた検討を進めるよう求める声や、食肉処理施設を利用する生産者の不安解消への配慮を求める意見が出されました。
令和二年七月豪雨による山地災害の被害額が令和元年東日本台風の二倍を超える五十七億円となったことや、コロナ禍において林業事業体を緊急的に支援する事業について説明があり、将来を見据えて、安定的かつ自立的に経営ができる林業事業体の育成をさらに推進すべきとの意見が出されました。